（別紙4（2））

事業所名　　グループホーム小笠

作成日：　平成　29　年　9　月　21　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1.35	平屋建ての建物であり、東西川に挟まれている地域に位置していることから、水害を中心に災害対策を進めて行く必要がある。	地域住民や近隣施設との連携を進めて行くことで、防災に関する基盤強化を図ることができる。	・地域の防災訓練に積極的に参加する。 ・社内の防災会議に、地域の防災担当者を招く機会を設け、情報共有や意見交換を行う。	6ヶ月
2	4.10	運営推進会議の出席メンバーに民生委員が含まれていないことから、地域福祉の現状や課題についての情報交換が不足している可能性がある。また、各家族との情報共有や、協力体制づくりへの働きかけに関しての課題がある。	運営推進会議をきっかけに、地域福祉に関する情報収集や共有を図ることができる。また、家族との情報共有を積極的に行うことで、運営への理解や協力を仰ぐ。	・運営推進会議に民生委員にも出席して頂けるよう働きかけを行う。 ・運営推進会議の議事録を全家族に送付する。	3ヶ月
3	45	浴室が広く衛生的な環境ではあるが、無機質な空間とも感じられる為、ゆったりと気持ちよく入浴を楽しめる工夫に欠けている。	清潔の保持を目的とするだけではなく、入浴時間を楽しんで頂けるような雰囲気づくりを行い、気分転換や安らぎの機会とすることができる。	・定期的に、季節を感じられるような変わり湯の機会を設ける。 ・好みに応じて、音楽を流したり職員と一緒に歌を口ずさんだりする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。